

付属屋代中学 ～現地学習～

— 姨捨棚田エリア —

(2023.9.14)

「巨大地すべりと人の力」で作られた姨捨棚田（2版）

さらしなルネサンス副会長 塚原弘昭

名月会前会長 金井実

（協力：さらしなルネサンス・名月会・ほか）

次の質問の答を考えながら、観察をしよう。

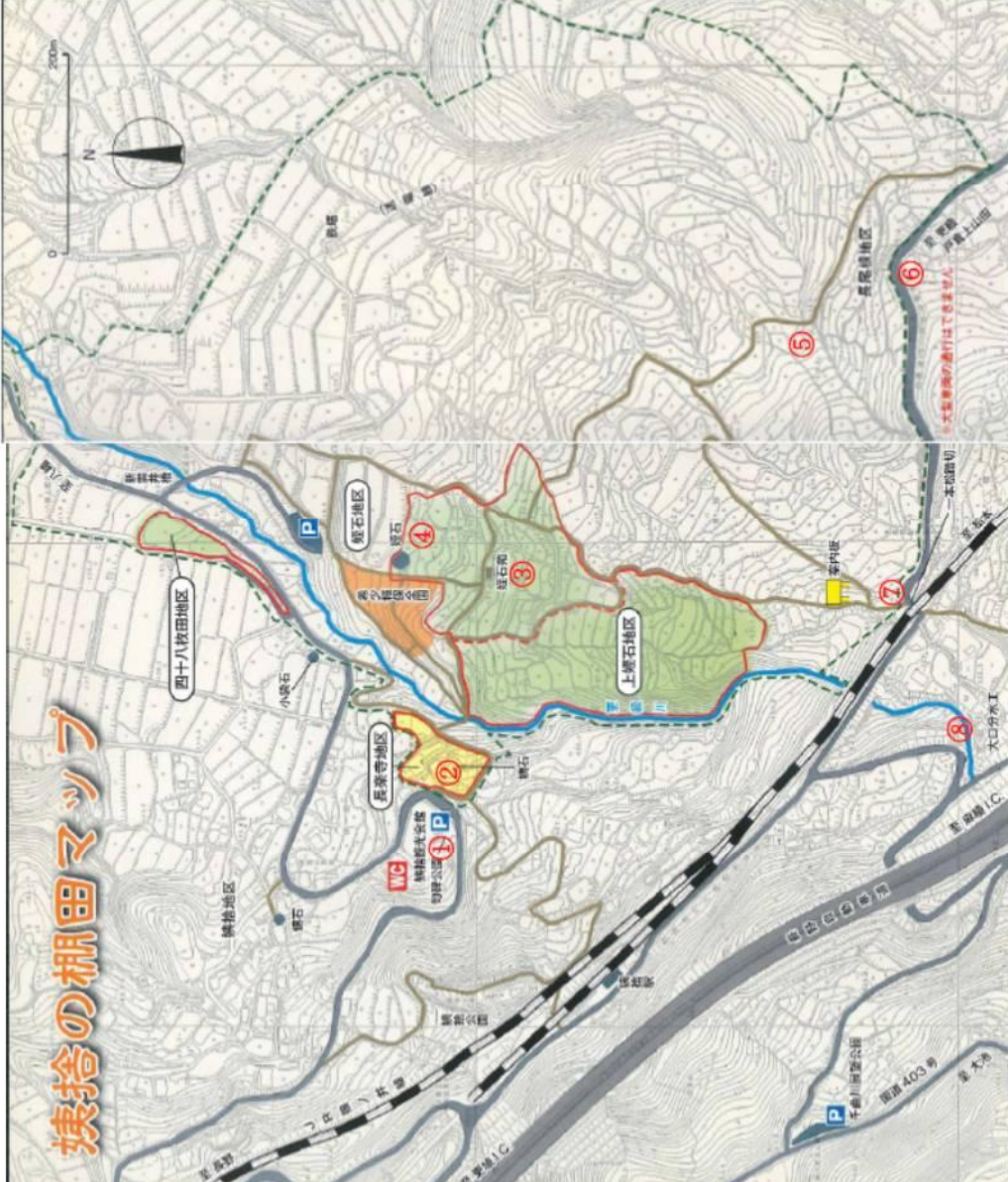
- (1) 水田の水が、水田の底から、もれないで、たまるのは 水のもれない土だからです。どんな土でしょうか？田植えの経験はありますか？
- (2) 田植えに必要な、たくさんの水の源はどこでしょうか？
- (3) その水の源には、どうして、たくさんの水があるのでしょうか？
- (4) 水田に必要な水が、尾根(おね)の上にまで来ています。水を導いているこの川(用水)は、しぜんにできたのでしょうか？
- (5) 姨捨の棚田の風景が「美しい」と感じる理由は为什么呢？



観察・展望地点

- ① 日本遺産センター
- ② 煖石 (おばいし)
- ③ 姪石苑 (めいしえん)
- ④ 姪石 (めいし)
- ⑤ 名月荘
- ⑥ 長尾根バス停
- ⑦ 一本松踏切
- ⑧ 大口分水工。ここで、棚田の最高地点⑦に向かって、更級川 (大池からの用水) から棚田用水が分水される。

地図の原図は「姨捨の棚田ガイドブック」千曲市 (ほうずき書籍 2013年発行) による



概要

(1) およそ 40 万年前まで、姨捨駅から南西方向約 2.5 km のところに [古]三峯山(現在の三峰山を含む 2000m 級?の山)がそびえていた。この[古]三峯山は、およそ 40 万年前大崩壊(= 巨大地すべり)した(現在のゴルフ場が崩落の最上地)。その 30 万年後(つまり、今から 10 万年前)には、その巨大地すべりした土の一部が、大きな地すべりを起こした(現在の大池がその最上地)。その後、この崩落土の中で多数の大小の地すべりが発生した。この地すべり地の中に「姨捨棚田」は作られた。

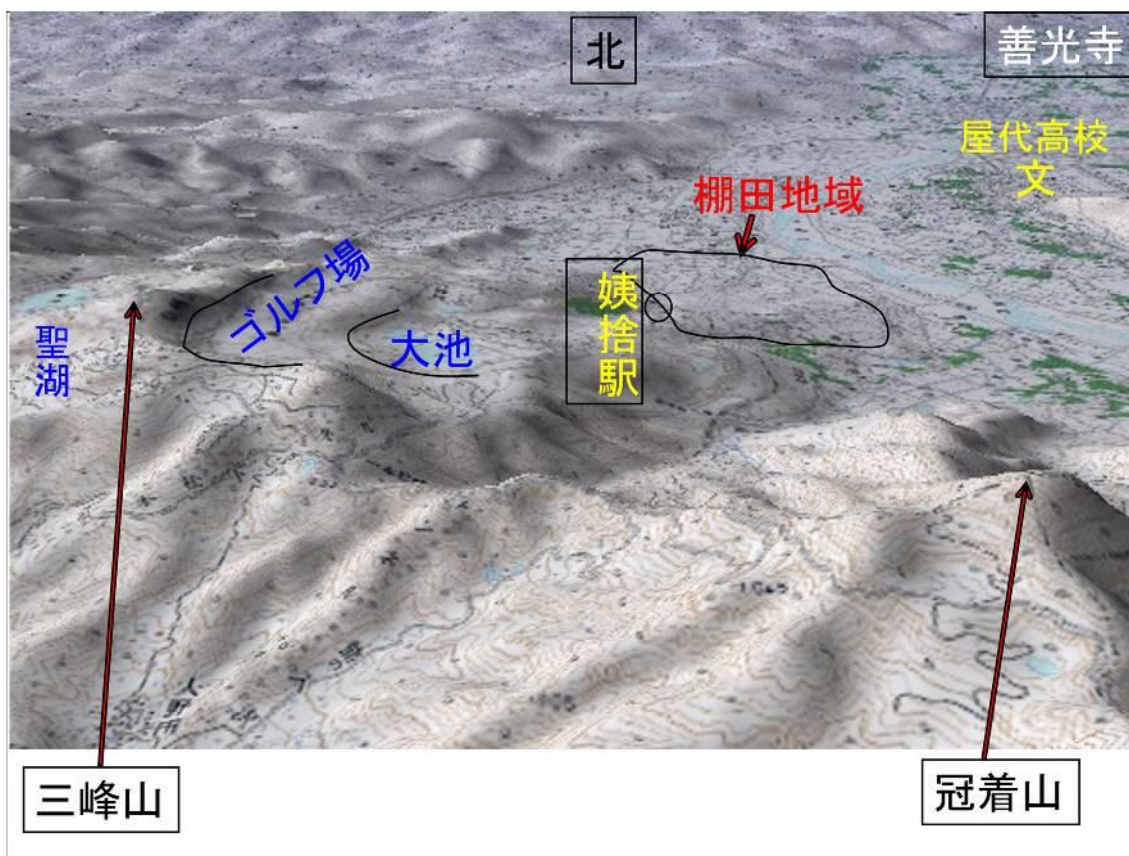
(2) 10 万年前の大崩壊の最上地にある崖(滑落崖・かつらくがい)の直下にできた沼地を住民組織が、稲を作るための溜池(ためいけ)として江戸時代から整備し(現在の「大池」)、水路を作り、その用水を尾根の上にもまで引いて、姨捨棚田地域では「尾根の上」でも稲作ができるようになった。

(3) 姨捨棚田の美しい景色の特徴:

(a) 昼間:①尾根の上の棚田、②広大な長野盆地(善光寺平ともいう)を背景とした棚田群(下の写真参照)の景色。

(b) 夜間:田毎の月

(4) 2回の巨大地すべりによって運ばれた巨大岩(姨岩、姪石、など)や、粘土に富んだ水田の土、などを観察し、さらに、大池からの水路も観察する。

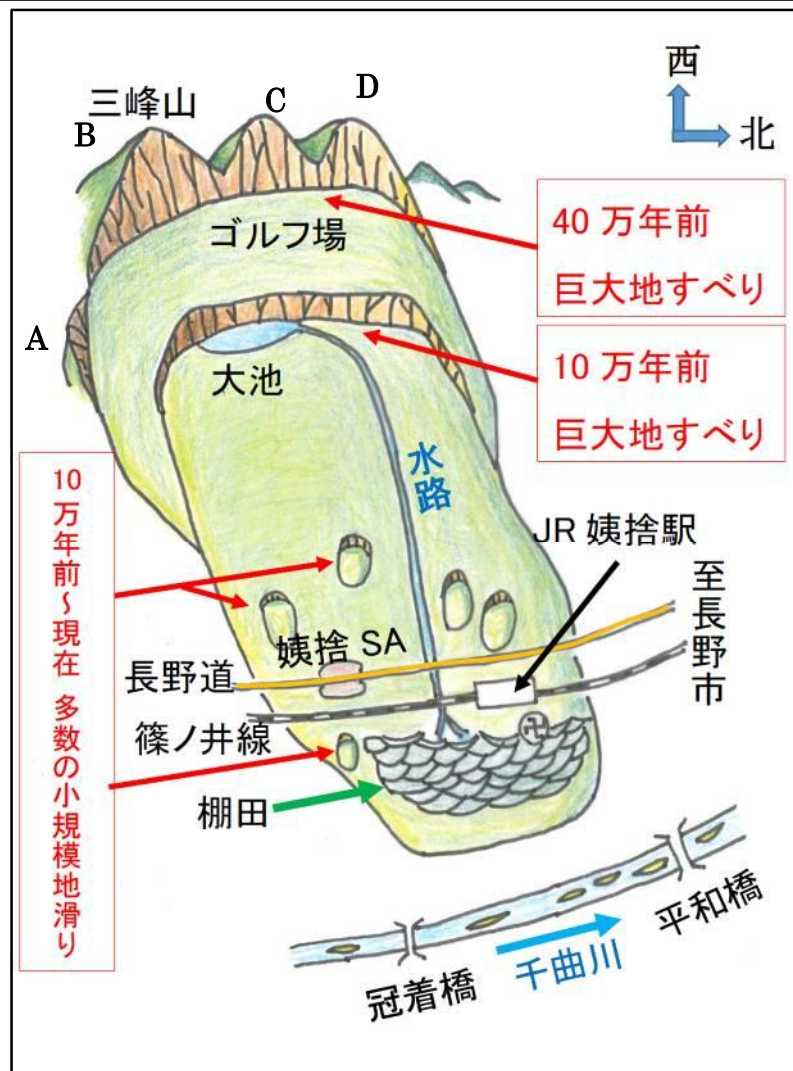


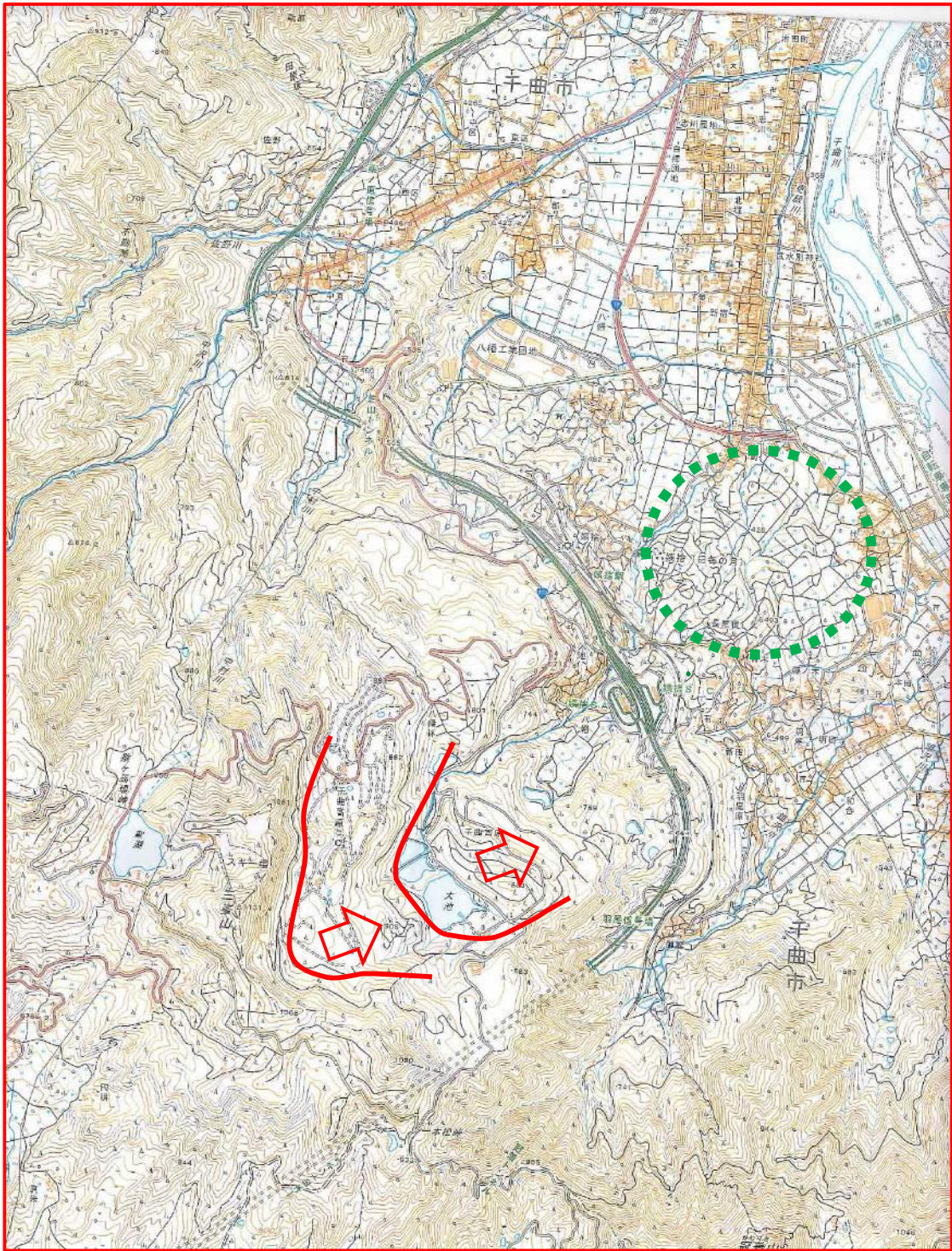
古三峰山の大崩壊で出現した A~D の峰（B が現在の三峰山）。

（冠着橋付近から西方を見た写真）



姨捨棚田の土壌の形成





棚田地域



地すべりの方向